

camp
Academy

学術野 2019 in 能登半島



「学術野営」は、あらゆる要因で失われゆく地域の学術資料へ、保存・継承・利活用に関わる専門家が交流し、学術資料に関する物理的な継承・情報公開および共有・利活用のための、多面的かつ学際的な議論をする場である。

—地域の学術資料をむすんでひらく会—

2019年7月6日(土) 会場：さいはての「キャバレー準備中」

●昼間の部 13:00~18:00

司会：堀井洋(AMANE)・後藤真(国立歴史民俗博物館)

1. 学術資料の存在・喪失に関する現状の正確な把握・公開

発表者：川邊咲子(金沢大学)・堀井美里(AMANE)

2. 正確な現状把握に基づいた継承・研究利用の検討

発表者：天野真志(国立歴史民俗博物館)・林正治(国立情報学研究所)

3. 学術資料の継承と一体となった利活用と発信

発表者：中村浩二(石川県立自然史資料館)・阿児雄之(東京国立博物館)

原嶋亮輔 (Root Design) ・加藤諭 (東北大学史料館)

高橋そよ (琉球大学)

●夜の部 ディスカッション 20:00~22:00

司会：高田良宏(金沢大学)

参加希望者はinfo@amane-project.jpまで。(若干名)

主催：合同会社AMANE

高田科研18K18525

国立歴史民俗博物館「総合資料学の創成」事業

2019年7月7日(日)

巡見予定